

**Shiny Shower
at Music Composer Lesson on Okazaki Highschool
in 1985**

1)

ありふれた町の朝の眩しい光に目を伏せる。
うすよごれた俺にさえ 信じられないほどの
光を浴びせかける。

いまどきはやらない ジーパンと皮ジャンを着込んだら
つきささる光の中 何かを見つけ出すために歩き出そう。

焼きついてるあいつの言葉
「忘れちゃいけないぜ。あのころの夢は」

流れてくる歌に俺の時間が止まる
そうさ 振り返りはしない俺は走りつづける

2)

置いてきた夢の形 忘れかけた拳の汗 背筋の震え
アノころのあんたはいつも光ってた
あいつは俺に背中向けた

逃げ出すなんてできはしない
腐れた俺でもあのころの夢は

流れてくる歌に 俺の胸が躍る
そうさ戸惑いはしない 俺は走りつづける。
流れてくる歌に俺の時間が止まる
そうさ 振り返りはしない俺は走りつづける

3)

逃げ出すなんてできはしない
腐れた俺でもあのころの夢は
流れてくる歌に俺の時間が止まる
そうさ 振り返りはしない俺は走りつづける
流れてくる歌に俺の時間が止まる
そうさ 振り返りはしない俺は走りつづける